

きんもくせい

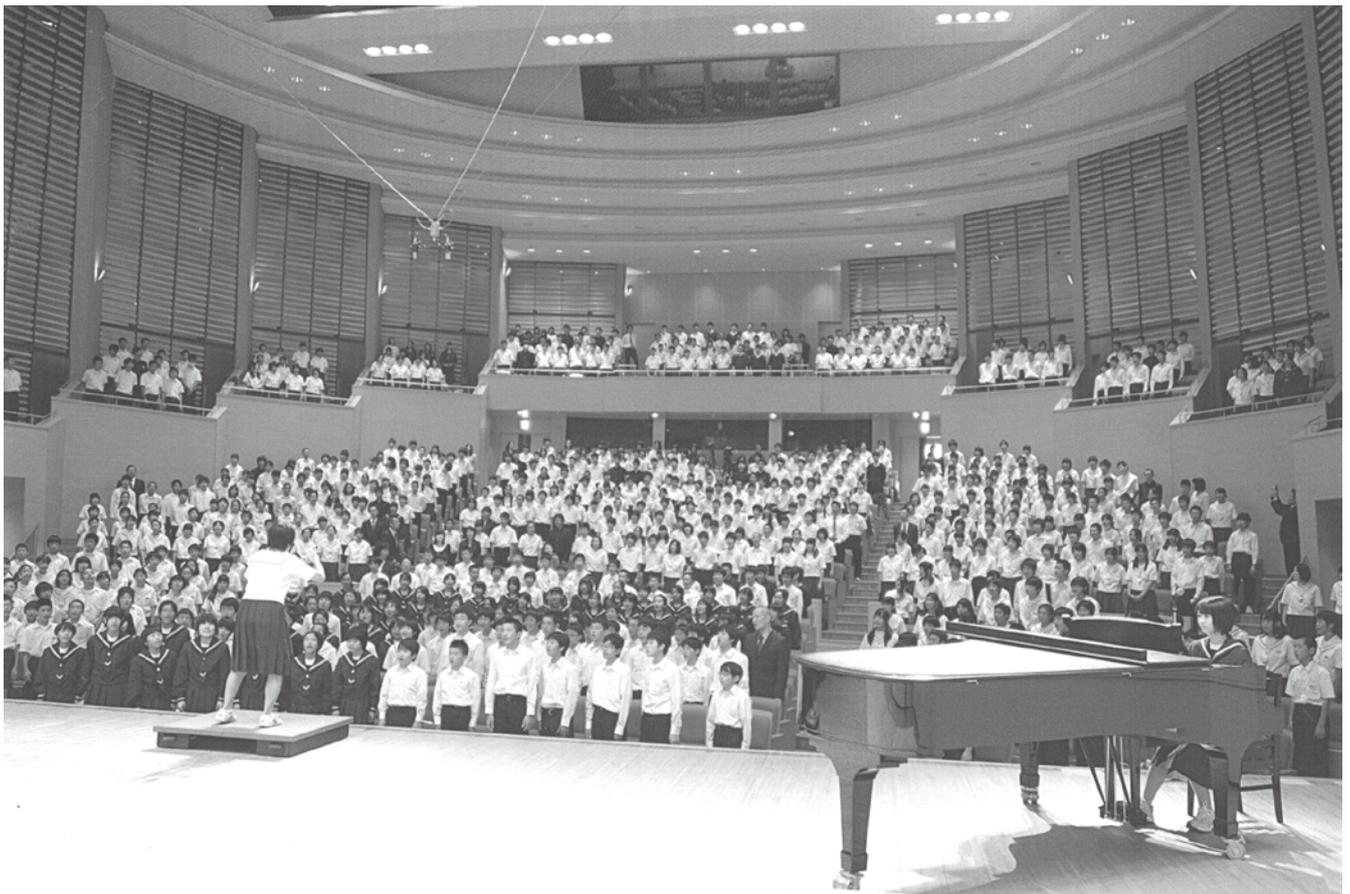
編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成25年 学校教育だより

December **12** 第319号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)



合唱発表会の全校合唱

写真提供／勝瀬中学校

「一番大切なものは…」

西中学校

内田 果南江

一番大切なものは
失って初めて気づく
いつも通りの毎日を
送るのは
今ではあたりまえかも
しれない
でも
戦争がおきている中を
生きることになれば
平和な毎日が
とても恋しくなるだろう
あたりまえのことが
実は一番大切なこと
一日一日を
これからも大切にしよう

健康で安全な生活を送るために

養護教諭は、「保健室の先生」として、子どもたちの健康管理と保健指導を行います。また、日常の教育活動及び授業づくりなどでも担任と協力して、健康の保持増進を実践できる児童生徒の育成をめざしています。そのために、積極的に健康に関する情報を発信することを「保健室」の役目として果たしていきたいと考えています。

市内では、養護教諭は各校一人ですから、横のつながりを大切に、定期的に集まって研究会を開いています。昨年度は、グループに分かれて、自分たちが行ってきた保健指導、保健学習の指導内容の検討、教材教具の作成を中心に、よりよい実践ができるよう研究をしてきました。今年度は昨年度の研究で深めたことをもとに、授業づくりを通して検証を行いました。

今回は、六年生の「病気の予防」という単元で、「病気の予防についての理解と、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる」ことをめあてて実践した、保健の授業を紹介いたします。

からだの学習

水谷東小 養護教諭 三角 麻子

歯を失う原因は？

本校の六年生は、歯科保健に対して保護者の関心が高いので、むし歯の本数が少なく、むし歯の治療率は、94%である(11/15現在)。また、給食後の歯みがきにも積極的に取り組むことができています。この良好な状態を生徒継続でできることが大切であるが、生活の仕方によっては、将来歯を失うことになりかねないことを理解させ、そうならないためにはどうしたらよいかを考える授業づくりを計画した。望ましい生活習慣について

自分の口の中を観察してみよう

歯を健康に保つためには、自分の歯の状態を知ることが大切である。まずは自分の歯



の状態を知るため、ワークシートを使って歯を観察させた。観察のポイントとして、目で見ると、指で触る、舌で触ることを丁寧にさせた。

むし歯、歯周病の起こり方を知ろう

次に子どもたちは、提示した図や写真などの資料から、むし歯や歯周病の起こり方について学んだ。むし歯については、歯垢を除去する、食事をした後に口の中を清潔にする

わかる授業

保健室発

歯のみがき方を考えよう

歯垢を落とす歯みがきの大切さを理解した上で、いよいよ実践である。グループごとに歯の模型を配り、「歯の裏側のみがき方」「重なりのある歯のみがき方」「歯肉のみがき方」などを考えさせた。各グループ

歯のみがき方を考えよう

プ、どうしたらうまくみがけるかを、模型の歯にブラシをあてながら真剣に話し合っていた。そして、グループの話し合いの結果を、歯の模型を使い、視覚的に確認しながら説明することができた。



特別支援教育

地域の中で育つ子どもたち

諏訪小学校 教諭 田中 奈津

本校の特別支援学級「なの花」には、二名の児童が在籍しています。保護者と共に、通学路で近所のお友達といっしょに毎朝学校まで元気に登校しています。

通学路の途中にいる学校応援団の安全ボランティアさんに、大きな声であいさつをしたり、元気よく返事をしたりするので名前を覚えてもらっています。

読書の時間には、図書ボランティアのお母さん方に絵本や紙芝居の読み聞かせをしていただいています。子ども達はこの時間をとても楽しみにしていて、毎回、目を輝かせて聴き入っています。お楽しみは、読み聞かせの後のお話です。学校外の様子を教えてください。貴重な機会になっています。いろんなお話を聞いています。

授業では、音楽・体育・外国語活動・総合など、子どもの実態に合わせて交流学习を行っています。グループ学習などでは、お友達が「○○くん、こっちだよ。」「○○ちゃん、こっちはこっちだよ。」とよく声をかけてくれます。いっしょに生活していく中で、子ども達は相手の個性を知り、それを受け入れて手助けしてくれます。

地域の方のご理解とご協力を得ながら、自己実現に向けて生活スキルを高めていきたいと思います。そのためにも「地域とのつながり」を大切にしていきたいです。

つるせ台小学校 6年 佐野 広空

今年の音楽会では6年生として「やっぱり6年だなぁ。」という演奏ができました。具体的に言うと、迫力・音の強弱・音の大小・音の速さが水のようにあふれてくる合唱、合奏ができたということです。そういった演奏をするためには日々練習をすることが本番への第一歩な

日々全力で…

のではないのでしょうか。ほくやみんなも日々全力で練習をしたのでうまくいったのだと思います。逆に日々さぼっていると本番はうまくいくはずがありません。ですからそういった特別な時はふだんよりもがんばって日々練習をしてみれば。日々がんばれば感動がうまれてくるはずです。



く」ことができるよう、これからも様々な人と連携しながら実践を積み重ね、保健室から積極的に発信していきたいと思う。

保健室が果たす役割

学校には、健康診断、健康相談、救急処置などを行う保健室があります。児童生徒の心や体の健康問題等の変化とともに保健室への期待やその機能も変化してきています。養護教諭の役割や仕事も、児童生徒が自己や他者の健康の保持増進を図る能力の育成に向け保健室からの発信が重要です。担任と協力しながらの授業づくりも保健教育の大きな役割となります。

家族の力

水谷中学校 保護者 加見 昇司

我が家で飼っていたダック
スフンドを残念なことに昨年
に急病で失ってしまいました。
犬とはいえ今まで家族同然
に暮らしていたので娘や家族
の受けたショックは大きく、
暫く立ち直れないほどでした。
ただ、我が愛犬は旅立つ際に、
娘に家族の大切さを身を持って
教えてくれたような気がし
てなりません。

家族は人間が構成する社会
の中で最小の集団になると考
えますが、まずはその最小集
団である、家族を大切にす
る子に育って欲しいと思っ
ています。

こんなことを書く読者の
方からは、ありきたりの事だ
とか、青臭いとか言われそ
うですが、今の世の中の荒れ
方は、結局のところ家族の
あり方が根にあるように思
えてなりません。

いっこうに取まらない、
いじめ問題、日常的に報道さ
れる身内同士のいさかい。そ
れは時として命をも落とす事
態に陥ることに我々はマヒし
てきています。現実には危
機的な

状況ではないでしょうか。
日本人は家族を中心に比較
的せまい社会の中で協力し
あつて生きてきました。良くも
悪くも我々の根底にあつたも
のが、くずれていったのが、
今の混乱が有るのではない
かと愚考しています。
娘は今、中学2年生で父親
とは、だんだん距離をおく年
頃になってきていますが、親
子でいろいろな体験をして、
感動や共感をともにし、親子
で成長していけたらと思っ
ています。



わかります。

いつか、巣立ってしまった
も大丈夫。楽しい日々を過
したねと、思えるから。



自らの力で…

富士見台中学校

富士見台中学校では、新
な環境でも自他を大切に、
共生する力を育成しようと、
今年度から新入生歓迎チ
ャレンジという生徒会主
催の行事を4月に始めまし
た。縦割りの5チームで2・3
年生が新入生に教えながら、
体育祭の種目である長縄跳
びに挑みます。担任等は切
指しをせず、クラスがチ
ームとして協力し、互いに
励まし合

ながらチャレンジします。
リーダーが必然的に生まれ
声をかけ合い、話し合う姿
が見られます。そして、チ
ームの課題解決のための協
力関係が生まれていきます。
もちろん、初体験です。一
回も跳べなかったり、うま
いことこの連続です。しか
し生徒たちは、あきらめず
にチャレンジし続けます。
私たち教職員は、集団の中



音読朝会

水谷小学校

水谷小学校では、昨年度
で国語科を通して、「自ら学
び豊かな表現ができる児童
の育成」に取り組んできま
した。
豊かに表現するためには、
詩や短歌・俳句などのよい
現に触れることが大切であ
ると考え、今年度も「音読
名人」を行っています。毎
月、各学年で読む詩などを
決めて、リズムよく読ん
だり暗唱をしています。

そして、取り組んだ音読
成果を発表する場として『
音読朝会』を学期に一回ず
つ行っています。
回数を重ねることに、た
だ読むだけでなく、音楽に
合わせた暗唱や、群読のよ
うに一人で読むところや全
員で読むところなどを工夫
する学年もありました。ま
た、発表を聞いている学年
も刺激になっています。
今日も、朝の会や国語の時



間になると、教室から『音
読名人』に取り組んでいる
声が聞こえてきます。

教育課題特集

はぐくむ
生きる力を

～学校・家庭・地域から～

ムトチームで思うこと

南畑小学校 保護者 武藤 貴子

いつか、子供達が、独立して、
それぞれ家庭を持った時、手
間暇かけて、料理を作って
欲しいと願っています。
そのためには、一人ずつで
あったり、三人一緒だったり
と、食事の準備をよくしてい
ます。
長男のさつきは、私が恐
がる揚げ物を、とても慣れた
手つきで、やってくれます。
次男のよしきは、お刺身を
柵で買ってくる握り寿司を
作ってくれます。
末っ子のかんなは、私の手
荒れがひどいので、お願い
するとお米を研いでくれます。
家族五人が揃って食事す
るのは、週に一、二回とな
ってしまいましたが、私と子
供達で、手際よく準備をし
ます。
誰か何をするとか、「温かい
の、運びます。」と、声かけ
をするので、なんだかワイ
ワイ

おはようございます

富士見みずほ幼稚園 園長 高橋 千代子

縁あつて、門の遠くに富士
山を臨む幼稚園で、子ども
達とすこすことになりました。
朝は門の前を散歩するお
年寄りや、犬をつれた人達
と挨拶を交わすことから始
まります。
八時半を過ぎる頃から、登
園する元気な園児の音が響
き始めます。
幼児教育は、一人一人の感
性をはぐくみ、基本的生活習
慣を身に付けさせることが
大きなねらいです。その第一
歩として、挨拶から人と手
にかかわることを教えてい
きます。子どもにとっては、
周囲の大人がみんなお手本
です。もちろん個人差は大き
いので、ゆつくりじっくりで
きるのを待ちます。朝送つ
てきたママと先生が、笑顔
で挨拶を交わす姿を見て、
真似たり、促されたりして、
「おはようございます」が
言えるようになります。

毎朝くり返される挨拶の中
に、一人一人の確かな成長
が見えてきます。
あの可愛い子ども達が大き
くなった時、笑顔の挨拶で
周囲と上手にかかわれるこ
とを願います。今日も「お
はようございます」の一日
が始まります。



で自らの「生きる力」をは
ぐくみ、みんなが支え合
い、一人一人に居場所があ
るクラスを生徒たち自身
の力で創っています。ほ
しいと願っています。



入園してすぐに言える子
も、一年以上かかって言
えるようになる子もいて、
様々です。時には門の
かなり手前で、

人間尊重・私の主張

人権問題について

児童虐待について



水谷中学校 三年
青木 樹莉亜

私は、テレビのニュースや新聞などで「児童虐待」で幼くして亡くなってしまったというニュースが、多く報道されているように感じます。なぜこのような事件が多く報道されているのか。児童虐待をする人は、なぜそのようなことをするのか。私はこのような疑問が湧き、「児童虐待」についての人権作文を書こうと思いました。

児童虐待とは、躰の域を越えた身体的暴力を子どもに振う身体的虐待、養育を拒否したり放棄したりするネグレクト、性的暴行を加える性的虐待、今挙げた以外の虐待で子どもに心理的苦痛を与える心理的虐待など、調べてみると様々なものがあるということがわかりました。この虐待は、毎年増加しているそうです。

でも私は、実際にはまだまだ虐待を受けて悩んで苦しんでいる人は、たくさんいると思います。虐待ではなくても、いじめでもずっと一人で悩んで、苦しんで、自殺してしまったりというニュースを何度も聞いたことがあります。虐待も、だれにも相談できず苦しんでいる人が、私が想像するよりも多くいるんじゃないかと思えます。

富士見市 いじめのない学校づくり子ども宣言

《小学校宣言》

私たちは、全校児童が仲良く楽しく過ごせる学校をつくるために、相手の気持ちを考えた行動を心がけ、いじめのない学校を目指し、以下のことを宣言します。
○私たちは、いじめをしている人に「遊び半分でも相手に傷つけるようなことはしてはいけません。」と注意します。
○私たちは、いじめられている人に「いつでも相談してね。一人でかかえこまないで。」と声をかけてあげます。
○私たちは、いじめを見ている人に「見ているのもいじめだよ。いっしょに助けてあげよう。」と言います。
○私たちは、お父さん、お母さん、先生たちに「子どもの変化に気づいて助けてください。」とお願ひします。
○私たちは、友だちのいいところを認め合い、いじめがなくなるまで、「いじめはだめだ。」とずっと続けます。

《中学校宣言》

私たちは、一人ひとりの個性を認め合える、いじめのない太陽のような学校をつくるために、以下のことを宣言します。
○私たちは、いじめをしている人に「相手の気持ちになって、自分の言動を見つめよう。」と声をかけていきます。
○私たちは、いじめられている人に「一人じゃないから勇気を出して相談してね。」と声をかけていきます。
○私たちは、いじめを見ている人に「私たちの一言で救われる人がいるからみんなで助け合おうよ。」と声をかけていきます。
○私たちは、お父さん、お母さん、先生たちに「一人ひとりをちゃんと理解して、良くなかったら注意をしてください。」とお願ひします。
○私たちは、仲間を大切にして、いじめを撲滅する努力をします。

家庭における人間尊重教育十か条

- 一人のいのちを大切にしよう
- 健康を大切にしよう
- おはよう、おやすみ、たがいま、おかえりのことばが聞こえる温かい家庭をつくりましょう
- 感謝の心を育てよう
- 家族の一員としての役割をはたしましょう
- 人の喜びを喜びとし、人の心の痛みを分かちあい助けあうよう努めよう
- やさしさ、いたわりの心を大切にしよう
- どんな物も人の汗と力と力できてることを知り物を大切にしよう
- 正しくやさしいことばでつづつていこう
- 正しいことをつらぬく強い心で勇気ある行動をとりましよう

人間尊重 わたしたちの合言葉

- 差別ゼロ ゼロで広がる みんなの輪
 - やめようよ 差別やいじめ 悪いこと
 - いじめゼロ まず自分から 始めよう
 - 悪口は 消しゴム使って 消せないよ
 - 笑顔はね 友達つくる 魔法だよ
 - そのキミ 見て見ぬフリで いいのかな
 - やめようよ その一言で 救われる
- (本郷中学校 一年 中嶋 悠太)
(南畑小学校 五年 吉川 駿)
(勝瀬小学校 五年 奥田 啓汰)
(水谷小学校 五年 増田 菜保美)
(西中学校 一年 高田 怜那)
(勝瀬中学校 一年 松下 夏奈)
- 入間郡市同和対策協議会
入間地区人権教育推進協議会
富士見市人権教育推進協議会
応募作品より

私は、実際に虐待とまではいかなかったとしても、子どもが親から、やりすぎではないか、と思うような扱いを受けていた場面を見たことがありました。たとえば、言うことを聞かなかった幼稚園児か、小学校の低学年くらいの子どもを、そばにいた母親が頭や背中を強めに叩きながら、「うるさい!」「黙れ!」という罵声を浴びせていたのを見たことがあります。

私はその時、自分の子どもになぜそんな酷いことをするんだ、と思いました。さらに驚いたのはその後でした。その叩かれたり罵声を浴びせられたりした子どもは、自分の母親に、ごめんさい、と何度も何度も謝り、「もう悪いことしないからおいていかないでください。」と、泣かずに敬語で言っていました。私はその瞬間、いつもこの子どもは親に酷い扱いを受けているんだ、と思いました。もしかしら、泣きたいくらい悲しくても、泣いたらもつと怒られる、ということを幼いながらに理解しているんじゃないか、とも思いました。

私はその親に対して、怒りより驚きの方が大きかったことを今でも覚えていてます。それまで私は、児童虐待について考えたことはありませんでした。このことがあり、児童虐待についても、前より考えるようになりました。

そして私は、最初に疑問に思っていた、なぜこのような事件が多く報道されているのか。児童虐待をする人は、なぜそのようなことをするのか。この疑問を解消するため、児童虐待が起る原因について考えてみました。

虐待が起る原因も色々あると思います。まず最初に思いうかんだのは、育児が思い通

りに進まなかったり、疲れて溜まったストレスからではないか、と思いました。二つ目は、その子どもの親が本当の親ではなく、義理の親という場合です。三つ目は、自分が子どもの時に親から虐待を受けていた、という場合です。これらの原因について、もっと深く考えてみたいと思います。

一つ目の原因では、子どもは親のストレス発散をする道具ではありません。自分勝手に子どもをふりまわすのはおかしいと思います。二つ目では、自分の子どもではないからといって、一つ目の時と同様に自分の勝手な思いでふりまわしているだけだと思います。三つ目では、自分が虐待を受けていたからといって、同じ苦しみを子どもにあわせてはいけません。これらのことを考え、私はやっぱりどんな原因があっても、虐待をしてはいけません。どんなことがあっても子どもを大切に育てることが親の義務だと思えます。

私は、虐待を受けた人がどんなにつらい思いをしていたかは、すべてはわかりませんが、かわいそう、と同情するだけでは変わらないと思うし、その親だけを責めてもこの問題は解決しないと思います。なので、社会全体でこの児童虐待について考えなければならぬと思います。

私は将来、もっと子どもを授かることの重さをしっかり理解していきたいです。そして自分が責任をもって育てるんだと強い決心をした上で、子どもを授かったら、私も大切に育てたいと思いました。

人間尊重教育推進

わたしたちのまちに育てよう人間尊重の心

一 富士見市は人間尊重宣言都市です

私たちのまち富士見市は、昭和四十一年に人間尊重都市宣言をしました。

「からだと心の健康を高めよう」「自分を大切にするとともに、他人を尊重しよう」「個性をよりよく生かし社会のために役立てよう」と呼びかけながら私たちのまちを人間尊重のまちにすることを宣言したのでした。

二 学校における人間尊重

市内の小・中・特別支援学校では、一人ひとりの子どもたちに確かな学力を身につけさせるとともに、人間らしくよりよく生きる心をはぐくむための教育が実践されています。

また、すべての教職員により一人ひとりの子どもたちが大切にされ、互いに尊重し合い、信頼関係で結ばれた学校づくりが進められています。

三 家庭教育における人間尊重

子どもにとって家庭は、安らぎの場所であり、人間としての生き方を学ぶかけがえのない場です。また、親子のコミュニケーションは、食事が体をつくるのと同じように、子どもの豊かな心をはぐくむこととなります。家庭での温かい言葉かけは、子どもの心を育てる栄養となります。

毎日の家庭生活の中で、やさしさや思いやりなどの豊かな心が育つことを願って「家庭における人間尊重教育十か条」が作成されておりますのでご活用ください。

家庭、学校・行政が力を合わせ、一体となって子どもたちの健全な育成に努力していきましょう。

教育委員会だより

◆ 富士見市高等学校等 入学準備金利子補給のご案内

この制度は、高校、専修学校、専門学校、短期大学及び大学へ入学するお子さんをお持ちの保護者で、日本政策金融公庫の教育一般貸付(入学資金)を受けた方に対し、市がその返済利子の一部又は全部を助成し、経済的負担の軽減を図るものです。

◇ 利子補給対象者

- (1) 市内在住の方
- (2) 市税(市県民税、固定資産税、軽自動車税)を滞納していない方
- (3) 日本政策金融公庫の教育一般貸付(入学資金)を受けている方

◇ 利子補給額

対象額は、融資額の内70万円以内の額を限度とします。利子補給額は、融資を受けた利率で、元利均等月賦償還、据置期間なしとして計算します。

◇ 利子補給期間

教育一般貸付の融資を受けた日の属する月の翌月から5年を限度とします。

◇ 申請手続き及び問合せ

教育委員会教育政策課まで(富士見市立中央図書館2階)
電話 049-251-2711(内線611、612)

※教育一般貸付の融資に関する問合せは、日本政策金融公庫へ

- ・ 日本政策金融公庫 川越支店
〒350-1123
川越市脇田本町14番1 日本生命ビル5階
電話 049-246-4171(申込み相談)
- ・ 国の教育ローンコールセンター
電話 0570-008656(ナビダイヤル)

平成25年度埼玉県小中学校児童生徒美術展 富士見市内展のご案内

☆公開日程	1月24日(金) 9:00~17:00
	25日(土) 9:00~17:00
	26日(日) 9:00~17:00
	27日(月) 9:00~15:00

☆会場 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ



十一月一日、音楽会が行われました。今年も和太鼓の演奏をしました。昨年とは異なり、にじいろ学級オリジナルの太鼓です。

一フリーズずつ進めていきま
した。太鼓を先生と一緒に準備したり、六年生が声かけを
したりしながら練習をしてい
きました。

も喜んでいました。
今年目は目の前で打つ先生が
いないこともあり、ドキドキ
しながら当日を迎えました。
校長先生や交流クラスの先生

音楽会に向けて、太鼓を打
つ時の約束や立ち方・バチの
持ち方の話をしてからいよいよ
練習の開始です。
先生のお手本を見ながら、

音楽会が近づくにつれ、は
つびを着たり、体育館へ行っ
て練習したりすることも増え
ました。体育館で打つ太鼓の
音は響きが違う、子どもたち

にじいろ太鼓そーれ!

勝瀬小学校 松田 久美



に勇気をもらいながら、一人
一人が自信を持ち「仲良く・
本気で・最後まであきらめず
にがんばる」ことができ、終
わった後には「やった!」「で
きた!」と達成感が溢れる笑
顔と同時に、ホッと安心した
表情が見られた一日でした。
「にじいろ太鼓」を通して、
子どもたちが更に成長したな
とうれしくなり、子どもたち
は本心にいろいろな力を秘め
ていると実感することができ
ました。

編集日記

いじめ防止対策推進法が施行
された。施行に伴い、各自治体
及び学校等の基本方針の策定が
求められることは、前回の紙面
で書かせていただいた。11月
は、本市教育委員会主催による
「いじめのない学校づくり子
ども宣言」の発表会が開かれた。

秋深まりゆく小春日和の中、
市内の小中学校の代表の児童生
徒が一堂に会していじめ撲滅に
向けた宣言の策定の話し合いを
した。子どもたちは、自分の心
と向き合い真剣だった。「相手
の気持ちを思いやる」「大人の
人に気づいてほしい」などの意
見を交わし、最後に「決めた自
分たちが実践する大切さ」を力
を込めて宣言してくれた。

集団でのいじめは、どこから
起きているのか。いじめのメカ
ニズムは、大人のちよつとした
言動や、個人のフラストレーシ
ョン、ストレスの大きさにより
集団の安定性や受容性が影響し
ている。

本来集団は、人を癒してくれ
る場である。規範意識や道徳性
など建設的に対処できる集団は、
不登校、いじめも減少する。人
のよいところを見つけしていく考
え方や相談できるような大人が、
楽しい経験や活動ができるよう
つなげたい。「親(教師)の思
うようには育たないが、親(教
師)のようには育つ。」のである。

(忍滑谷)